

## オオヒカゲ

*Ninguta schrenckii schrenckii*

兵庫県：Aランク

環境省：

### 種の概要

前翅長35～45mm程度。翅の表面は黒褐色で後翅には黒斑を有する。裏面の地色は淡褐色で、黄色く縁取られた黒色の眼状紋を持つ。低山地から山地の疎林を含む湿地に生息し、幼虫はカサスゲ、テキリスゲなどを食べる。年1化性で、成虫は6月～8月に見られる。



写真提供：刈田悟史

### 国内分布

北海道、本州

### 県内分布記録

神戸市、三田市、神河町、宍粟市、佐用町、養父市

### 選定理由

| 人為性   |        | 特殊生息環境 | 学術性   |       |    |
|-------|--------|--------|-------|-------|----|
| 個体数激減 | 生息環境激変 |        | 分布が極限 | 分布の限界 | 希少 |
| ○     | ○      | ○      | ○     |       | ○  |



### 特記事項

BランクからAランクに変更

県内で11箇所の記録があり、生息地は限られていたが、1980年代にほとんどの地域で見られなくなり、1993年の宍粟市波賀町戸倉での記録が最後である。カサスゲなどの生育する湿地が点在する環境が近年消滅した。

### 保護上の留意点